


江戸時代の機構で完全再現された
「和時計」の復刻モデルをつくりあげる

『週刊 和時計をつくる』

2011年8月30日（火）創刊

http://deagostini.jp/wdt/
全60号、創刊号特別価格 890円/税込
2号以降通常価格 1,990円/税込



株式会社デアゴスティーニ・ジャパン(本社:東京都中央区、社長:大谷秀之)は、毎号付属のパーツを組み立て、江戸時代の機構で完全再現された「和時計(台時計)」(全長約67cm・全幅約24cm)が完成するマガジン「週刊 和時計をつくる」を、2011年8月30日(火)より全国書店(一部地域を除く)及び、当社ホームページで発売します。



■江戸時代の機構で完全再現された「和時計」を作り上げるシリーズ

本シリーズで完成する「和時計」は、現存する和時計(台時計)を調査研究し、新たに図面を描き起こして復元したモデルです。江戸時代のからくり技術を西洋の時計機構に応用し作り上げた和時計を忠実に再現しています。

パーツは「金属パーツ」と「木製パーツ」、約420点で組み立てます。文字盤、側面板、内部機構の歯車など主要な金属パーツは当時と同じ真鍮製。前扉、側面板には「彫金装飾」、飾り柱にも当時の装飾を施し、豪華な工芸品としての風格も感じられる逸品です。当時、大名や富豪しか所有することができなかった和時計をステップバイステップで作ることができるシリーズです。

■本シリーズで作る「二挺天符式和時計」の魅力

本誌で組み立てる「和時計」は、夜明けと夕暮れに二つの天符が自動で切り替わる複雑で精巧な「二挺天符式」機構となっています。

錘(おもり)を動力とし、「十干十二支暦」で日付を表示、時を知らせる鐘が鳴る「時打ち機能」も再現。

さらに、季節によって昼夜の長さが変化するのに合わせ時を刻む「不定時法」という当時の時法で時刻を表示。自然のリズムと合致した江戸時代の暮らしを体感することができます。



■時計の歴史から江戸のからくり技術まで、マガジンで「和時計」への理解を深める

マガジンでは、和時計にとどまらず、江戸時代の画期的な発明や、世界の機械式時計の歴史、「時」にまつわるエピソードを紹介。時計や歴史が生んだテクノロジーについて知ることで、より深く「和時計」を楽しんでいただける内容です。また、組み立て方や付属の工具の使い方も、初心者でもわかりやすいように写真付きで、全ての手順を徹底的にフォローしています。



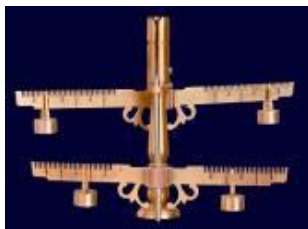
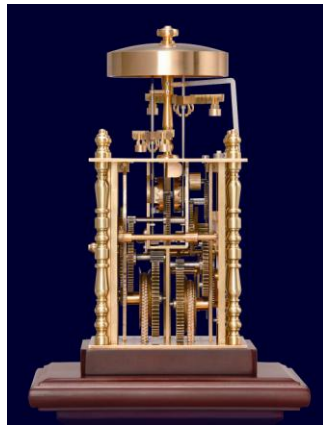
【商品概要】



タイトル	『週刊 和時計をつくる』
価格	創刊号特別価格 890 円（税込） 2号以降通常価格 1,990 円（税込）
創刊日	2011年8月30日（火）
刊行形態	毎週火曜日発売（一部地域を除く）
刊行号数	全 60 号
判型	A4 変型判 オールカラー（13 ページ）
バインダー	通常価格 1,290 円 2011年11月末まで特別価格 690 円

＜本シリーズで完成する二挺天符式台時計＞

高さ：約 67cm
幅：約 24cm



江戸時代、太陽の動きに合わせて時刻を決める独自の時法「不定時法」を採用していた日本。その複雑な時法に対応するため、西洋の機械式時計を日本のからくり技術をもって改良し作られた「和時計」。本シリーズで完成する「和時計」（台時計）は、真鍮や木など、可能な限り当時と同じ材料を用い、外観の美しさのみならずパーツの重厚感まで再現することにこだわった本格的なモデルです。また、動力も当時と同じ「錘」を用いて、「二挺天符」機構や、鈴（鐘）が鳴る「時打ち機能」、江戸時代のカレンダー「十干十二支曆」で日付を表示するなど完全再現。鑑賞するだけでなく、日の出、日の入りに合わせて暮らしていた、当時の時間の流れを体感していただけます。

**【読者全員プレゼント】
オリジナル懐中時計**

創刊号から 35 号まで購読された方に、本誌で作る和時計と同じ唐草模様を施した、和時計風のオリジナル懐中時計をプレゼントいたします。

- 材質 （本体）真鍮 / （鎖）スチール
- サイズ （本体）縦 50×横 42mm
- チェーン長さ 約 370mm



～ マガジンの主な内容 ～

マガジンは、5つの章で構成されています。

【和時計探訪】

日本に初めて西洋式の機械時計が持ち込まれて以来、和時計は江戸時代の匠の技によって改良が重ねられてきた。数多くの種類が考案され、つくられた和時計を、美しい写真で紹介しながら、デザインや仕組み、暦法などについて解説します。



【時計物語】

13世紀末頃にはじめてつくられた機械式時計の歴史をたどっていくとともに、機構についても詳しく解説。時計のコレクションでも有名な大英博物館の協力を得て、世界中の貴重な時計も数多く紹介します。



【時の千夜一夜】

日時計といった時計の起源から、時をテーマにした江戸の浮世絵や書物など、時計や時間にまつわる様々なエピソードや情報を和洋問わず紹介するコラムです。



【江戸のサイエンステクノロジー】

室町時代から江戸時代にかけて、西洋の科学技術が流入してきたのにも関わらず、日本の技術「Japan テクノロジー」が花開いた。その当時に発明された装置や機械を取り上げ、その仕組みや開発秘話、その後の科学技術の発展に与えた影響などを解説します。

【組み立てガイド】

毎号ついてくる和時計のパーツの組み立て方法をわかりやすく解説。全ての手順を写真付きで解説しているため、初心者の方でも手順を追っていけば組み立てられます。



- 報道関係者からのお問い合わせ先
共同 PR 株式会社：内藤、内田
TEL：03-3571-5326 FAX：03-3574-0316
Email：deagostinipr@kyodo-pr.co.jp
- 当商品の広報に関するお問い合わせ先
デアゴスティーニ・ジャパン
担当：中東（新聞、雑誌、Web 対応）、長谷川（テレビ、ラジオ対応）
TEL：03-6730-7685 Email：deapress@deagostini.co.jp
- 読者向けお問合せ先（商品に関するお問合せ先）
デアゴスティーニ 読者サービスセンター TEL：0570-037-239
（月～金 10:00～18:00 土日祝を除く）